

## 第3節 自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から

### 1 基本的な考え方

地域づくり・まちづくりは市民の着実な活動から始まります。団体・サークル等の自主活動を通じて、仲間とのふれあいが生まれ、人と人との関係が豊かになり、お互いに学び合い、教え合うような人間関係が形成されます。自主的な地域団体・生涯学習サークルの活動が活発になるよう応援するため、団体等の自主性を基本として、活動の場の提供や支援をしていきます。

また、生涯学習は本来行う事自体が楽しいものですが、学習の成果を地域社会に生かすことは、学習者にとって自己の成長を確認できるなど、大きな意味も持ちます。生涯学習を通じて得た学習の成果を、地域やボランティア活動に生かし、市民同士が教え合い、学び合う環境を整備し、生涯学習が地域の市民の手で推進していく体制の確立を図ります。

### 2 現状と課題

青梅市内では、文化・芸術活動、スポーツ活動、暮らしや身近な課題についての学習、子ども達の健全育成のための活動、地域のための活動など、多種多様な学習や活動を行っている団体があり、市民センター等では、場所の提供、地域団体への備品や用具の貸出等を行っています。その他、地域のリサイクル活動への奨励や、スポーツ活動を支援しています。また、大規模化、多様化する地震や大雨に備え、防災意識や対応能力の更なる向上を図ることが大切です。これからも、各団体の自主性を保ちながら活動を支援し、各団体の活性化を図っていくことが望まれます。

個人に目を向けると、様々な特技や技能を持った地域人材がいます。現在活躍している地域人材に一層活躍していただくとともに、新たに学び、知識や経験を持った市民が、家庭・学校・地域で生かされるよう、活動の場や機会をより多くつくることが求められています。

### 3 主な施策の方向

#### (1) 地域コミュニティ活動への支援

地域におけるあらゆる世代の多様な学習活動・スポーツ活動等を広く支援するとともに、学習成果の発表の場として生涯学習イベントの開催や、青梅市文化交流センターの活用など、学習環境の整備に努めます。

また、地域の声や地域特性を生かした事業の実施に努めるとともに、市民の学習成果が地域活動へとつながり、地域活動で生まれた交流が新たな学習や地域活動に展開していく循環型の生涯学習を進めます。

防災についても、災害に備え、各地域において訓練の実施の支援や、防災ハンドブックの更新を行っていきます。

#### 【関連する主な事業例（行政）】 ●は第六次計画で新たに掲載された事業

担当課名	事業名	担当課名	事業名
企画政策課	●ぶらっとホーム推進ワークショップ	スポーツ推進課	地区市民運動会等支援
防災課	総合防災訓練 防災ハンドブックの更新・配布	社会教育課	総合文化祭
市民活動推進課	市民活動災害補償制度	青梅市立第一中学校	●クリーン活動 ●多摩川1万人清掃活動
市民センター	自主学習グループ支援 支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	青梅市立第二中学校	●地域防災訓練 ●地域清掃 ●自治会運動会への参加 ●多摩川1万人の清掃大会への参加
清掃リサイクル課	環境美化大会 資源回収の奨励		

#### 【関連する主な事業例（市内団体）】 ●は第六次計画で新たに掲載された事業

実施団体名	事業名	実施団体名	事業名
幾代会	●吉野梅郷梅まつりを華やかに演出	霞川くらしの楽校	●自主活動の支援
社会福祉法人一石会	●ベトナムの“食”に触れる交流会	上郷梅香会	●自治会・地域各種団体との連携を図る事業への参加
歌いっこ	●歌いっこカラオケの会	JRP青梅支部	●青梅写真連盟
青梅さもの博物館	きもの文化講演会	(公社)自彊術すみれ会	健康の為に体操教室の会
青梅ダーツ協会	●体験会の開催やサポート	柚保藤美会	●社会奉仕活動
0J-Suns	●青梅市新緑祭での音楽出演 ●自主企画Summer Live ●青梅宿アートフェスタ参加 他	梅郷ボランティア・グループ	使用済み切手の整理 地区文化祭に参加
小曾木っ子の会	笑顔いっぱい「小曾木っ子まつり」 笑顔いっぱい「小曾木っ子おもちつき」		



▲ 総合防災訓練の様子

(2) 地域人材の育成と活用

地域での活躍を振興し支援するため、各種活動のボランティアやリーダー養成講座等の実施を推進します。

また、優れた技能・知識・経験等を有する地域人材の登録制度である「生涯学習講師・指導者およびボランティア人材登録制度」や「シルバーマイスター制度」の周知を一層図り、活用してもらうことで、地域の教育力の向上を図ります。

【関連する主な事業例（行政）】

担当課名	事業名	担当課名	事業名
防災課	防災リーダーの育成	農林水産課	青梅市森林ボランティア育成講座
市民センター	子ども会ジュニアリーダー講習会 子ども会育成指導者講習会 地域の特性を生かした事業	スポーツ推進課	スポーツ推進委員研修
公園緑地課	緑地管理ボランティア	社会教育課	青少年リーダー育成研修会事業 講師・指導者およびボランティア 協力者・協力団体人材登録制度 芸術文化奨励賞 おはなし学習会 絵本のべんきょう会
高齢者支援課	介護予防リーダー養成講座 シルバーマイスター制度	青梅商工会議所・商工観光課	合同企業説明会 i n 青梅
商工観光課	吹上しょうぶ公園・梅の公園ガイドボランティア		

【関連する主な事業例（市内団体）】 ●は第六次計画で新たに掲載された事業

実施団体名	事業名	実施団体名	事業名
青梅市サイクリング協会	●都民体育大会	JRP青梅支部	●写真セミナー
青梅フォトクラブ	●ふれあい写真交流会	東雲短詩会	●東雲短詩会
青梅幼稚園	●読み聞かせ「おはなしおはなし」	社会福祉法人東京武尊会	●武尊塾



▲ 青少年リーダー育成研修会



▲ 地域人材を講師とした講座の実施

## 第4節 学習情報提供と学習相談の充実

### 1 基本的な考え方

市民一人ひとりの学びの意思・意欲を大切にするとともに、学習活動が活発に行われるためには、生涯学習情報を「いつでも・どこでも・誰でも」入手できることが求められています。

このことから、広報等の印刷物による学習や機会の場・方法などに関する情報をはじめ、インターネット等様々な媒体を利用して情報を提供し、生涯学習に関する情報を発信することで、市民の生涯学習を支援します。

### 2 現状と課題

青梅市では、様々な生涯学習に関する事業やイベントなどを実施しており、その情報提供は主に、市の広報、ホームページ、チラシやポスター等で行っています。しかし、このような媒体を活用している市民や、積極的に生涯学習に取り組んでいる市民にしか情報が届いていない状況があります。また、生涯学習活動団体では、イベントや新規会員募集の広報活動を行っているが、周知が難しいとしている団体もあります。

今後、情報が届いていない市民にも、生涯学習に関する情報が届くよう、情報発信力を強化することが課題です。

### 3 主な施策の方向

#### (1) 学習情報提供の充実

市では、誰もが手軽に情報を得られる広報や各施設だより、ポスター、情報誌等で学習情報を提供しています。その中で生涯学習だよりは、生涯学習関連の団体やサークルの紹介、各種教室・講座やイベントを掲載しています。また、市のホームページ、ツイッター等のICT（情報通信技術）を利用して、学習情報を公開しています。今まで活用してきた情報媒体の内容や活用を一層充実させるとともに、社会の状況にあった学習情報の発信方法を取り入れることを検討しながら、電子申請や電子メールによる受講生受付等の推進

を図り、利便性の向上に取り組みます。

【関連する主な事業例（行政）】

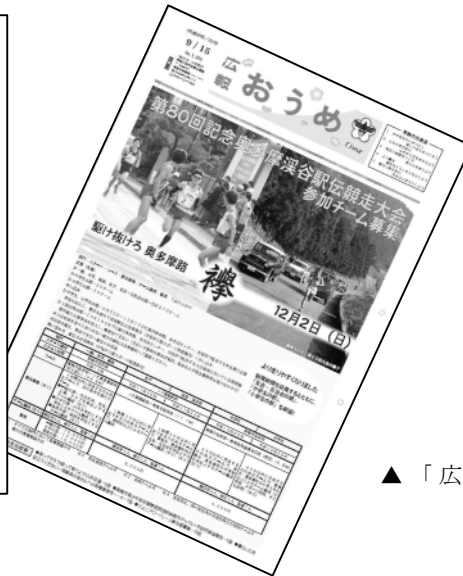
担当課名	事業名	担当課名	事業名
秘書広報課	「広報おうめ」への行政情報等掲載	社会教育課	生涯学習だよりの発行 社会教育事業の学校への周知 図書館報の発行 ブックリストの配布 分館図書館だよりの発行
秘書広報課・情報システム課	市ホームページへの行政情報等掲載		
防災課	土砂災害ハザードマップの作成		
市民活動推進課	男女平等情報紙		
市民センター	市民センターだよりの発行		
市民税課	青梅税務署管内小学生による『税をを考える週間』書道展		

【関連する主な事業例（市内団体）】 ●は第六次計画で新たに掲載された事業

実施団体名	事業名	実施団体名	事業名
青梅さもの博物館	●時代衣裳の展示	青梅ボランティア・市民活動センター	ボランティア情報の充実
青梅市アーチェリー協会	会報の発行	JRP青梅支部	●デジカメ使いこなし塾



▲生涯学習だより



▲「広報おうめ」

(2) 学習相談の整備

市に登録された講師・指導者等の人材情報やサークル団体情報、生涯学習施設について、講座・催し物について、窓口や電話等による学習に関する相談を受け、市民の学習意欲が活動につながる学習相談機能の充実を図ります。

青梅市文化交流センターでは、既存のサークル団体の活性化のための情報提供の相談や、新規団体の立ち上げのサポートを行います。

【関連する主な事業例（行政）】

担当課名	事業名
社会教育課	生涯学習相談

## 第5節 生涯学習推進体制の確立

### 1 基本的な考え方

青梅市における生涯学習関連事業は、教育行政だけでなく、一般行政においても活発に行われています。市民の自主的な学習活動を効果的に支援していくために、現在各事業の担当課で独自に企画・実施されている生涯学習事業を、それぞれの事業の目的を大切にしながら、市民の生涯学習の推進という視点から捉え直し、「生涯学習推進本部」や「総合教育会議」などを通じて情報を共有し、相互に連携・協力関係を築いていくことが大切です。

また、各課の連携・協力関係を築くことで、類似の事業が重複して実施されることを避け、バランスよく効率的に事業を実施していくことができます。

さらに、学習の主体である市民の意見を生涯学習の推進施策に反映させていくことが大切であり、電子申請による講座企画等のアイデア受付機能を活用し、市民の意見にもとづく講座を実施する等、施策の充実を図ります。

また、市と市民が協力しながら施策を進めていくための情報交換や意見交換の場が必要です。このことから、市の推進組織である青梅市生涯学習推進本部と、学識経験者や生涯学習関係団体の代表者からなる青梅市生涯学習推進市民会議の連携・協力関係を推進し、生涯学習推進体制の充実を図ります。

### 2 現状と課題

現在、青梅市では、市民の生涯学習推進を目的とした生涯学習推進本部や、教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策や方針を定める総合教育会議が開かれ、市内部の協力・連携のための調整が行われています。今後も、市内部での調整を行うとともに、NPO法人、市民団体、学校、企業等との更なる連携・協働を図り、生涯学習推進体制を充実させていく必要があります。

また、市内では様々な生涯学習をしている団体、講座やイベントに参加している市民がいます。しかし、参加している市民の高齢化

や固定化がみられることもあり、今後この傾向が続くと、参加者の先細りが予想されることから、新たな参加者を募っていく必要があります。生涯学習活動に興味・関心を持ち、新たな参加者となってもらえるよう、事業やイベントの内容や参加方法、時間帯などを検討し、改善に取り組むことが重要です。

### 3 主な施策の方向

#### (1) 推進体制づくり

青梅市生涯学習推進本部は、各所管課の生涯学習についての共通理解を深め、連携・協力関係を築いていくとともに、青梅市生涯学習推進市民会議と連携し、市と市民のパートナーシップで生涯学習が推進できる体制を進めます。また、地域のNPO法人、ボランティア、生涯学習団体、地域の関係機関などと連携・協働し、青梅市における生涯学習を一層推進します。

#### 【関連する主な事業例（行政）】

担当課名	事業名	担当課名	事業名
職員課	職員研修受講支援	社会教育課	生涯学習推進本部 生涯学習推進市民会議

#### 【関連する主な事業例（市内団体）】 ●は第六次計画で新たに掲載された事業

実施団体名	事業名	実施団体名	事業名
NPO法人青梅こども未来	各種事業スタッフ養成・スキルアップに関する事業	東京都立青峰学園	都立学校公開講座・ボランティア養成講座（初級）
JRP青梅支部	●撮影した写真の合評、相互研鑽		

## (2) 支援体制づくり

市民の学習ニーズを的確に把握するとともに、市民一人ひとりの学習を支援し、より多くの市民が学習機会を得ることができるよう、保育付きの教室や介護者、手話通訳者、外国語通訳者を配置した教室など、全ての人に配慮した学習支援体制の構築の推進を図ります。

また、生涯学習に関する啓発や本計画についての情報発信に努め、周知を図っていきます。

### 【関連する主な事業例（行政）】

担当課名	事業名	担当課名	事業名
社会教育課	市民企画講座の募集 アンケートの実施	社会教育課	学習支援体制の構築

### 【関連する主な事業例（市内団体）】 ●は第六次計画で新たに掲載された事業

実施団体名	事業名
うたごえ・かなりあ	●「のどトレ」講演会

